

平成23年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 3 2 6 9 2 2. 研究機関名 東京工科大学
3. 研究種目名 若手研究 (B) 4. 研究期間 平成 21 年度 ~ 平成 23 年度
5. 課題番号 2 1 7 0 0 5 5 2
6. 研究課題名 意味痴呆患者の掘り下げ検査の改善に向けた「棒読み現象」の観察と分析手法の開発

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
2 0 3 8 6 7 7 5	オオバ マサト 大庭 真人	片柳研究所	研究員

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字~800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

理解していない用語の文章を読み上げる際には棒読みになるという現象がしばしば経験される。そこで、逆に用語の理解度の指標として利用するため、読み上げにおける棒読み現象の特徴の記述を試みる。事前に、専門用語の略語と一般用語の説明文を読み上げてもらい、その読み上げ音声进行分析対象とした。東京もしくは神奈川県出身の言語聴覚士(以後ST)8名(男性2名,女性6名)、学生9名(男性5名,女性4名)に静穏な環境下で読み上げを依頼し、8語のSTの専門用語と8語の一般用語の計16語について読み上げてもらい収録した音声データを用いて以下の分析結果を得た。また、収録後参加者17名全員に対し、16語それぞれの略語に対する理解度と使用頻度についてアンケート調査を実施した。その後、上記の16語の略語について、略語の読み上げ後に略語の未知・既知(既知の場合には自身による説明を依頼)を明確化した後に、略語の説明文の読み上げ実験を学生5名(男性3名,女性2名)に対し行った。

音声データについて、棒読みとの印象が強い読み上げには、言いよどみもしくは読み上げ文の読み返しによるポーズが観察されるだけでなく、本来の文の意味構造の区切り目とは無関係に不自然な位置に区切り目が観察されたが、前後の読み上げ音声の読み上げ速度には顕著な変化が観られなかった。このようなポーズの発生が棒読み指標としての可能性が示された。また、読み上げの抑揚については個人差が大きく分析を行うには、さらなる音声データと「棒読み」のグループ化を試み分析する必要がある。

10. キーワード

- (1) 意味痴呆 (2) 掘り下げ検査 (3) 棒読み (4)
- (5) (6) (7) (8)

11. 現在までの達成度

下欄には、交付申請書に記載した「研究の目的」の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。
 <区分>①当初の計画以上に進展している。 ②おおむね順調に進展している。 ③やや遅れている。 ④遅れている。

(区分)	
(理由)	

12. 今後の研究の推進方策

本研究課題の今後の推進方策について簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

13. 研究発表（平成23年度の研究成果）

※ 「13. 研究発表」欄及び「14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合は、左端を糊付けすること。

〔雑誌論文〕 計（0）件 うち査読付論文 計（0）件

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）				

〔学会発表〕 計（0）件 うち招待講演 計（0）件

発表者名	発表標題		
学会等名	発表年月日	発表場所	

〔図書〕 計（0）件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

【取得】 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--